



Subaru

男声合唱団

ニュース784 '22.7.4

# 猛暑日の 7 月！熱中症・脱水症にご注意！休息・栄養・体調管理にといきみ、昂活動を進めよう！

7月1日



□ 7月1日(金)18:00~20:30 昂定例レッスンが開催されました。

奥村さんの体操のあと、坂井先生の発声の練習。坂井先生の指揮で、新曲「フィンランディア」(新譜)と、大阪南部合唱発表会予定曲:「地雷ではなく花をください」「いのちの歌」をレッスンしました。

「地雷ではなく・・・」は、本並作曲譜面の音符長さ通りに歌いました。

「いのちの歌」では、休符位置で余韻を残さないことの注意がありました。

各曲とも、譜面に忠実で、わかりやすく丁寧な指導でした。

参加者は、全24名、部員22名(T1:7名、T2:5名、BR:5名、BS:5名)+本並先生(BR)出席率=88%(金曜レッスン出席予定者中の欠席者3名)

ピアノ伴奏は門万沙子さん。

昂総会に向けて思うままに 団長:千秋昌弘

暑い夏、暑すぎる夏、コロナがまた鎌首を持ち上げ睨んでいる。

ウクライナは早く戦争が終わってほしいと願うばかりである。



私たちは微力である。しかし、無力ではない。  
昂のコンサートは多くの人に感動を与えることができた。  
音楽の力は、平和にとってなくてはならないものである。

私たち比較的高齢昂は古き指導者、共に歩んだ指導者に感謝するとともに、  
新しい、これから全てを共にする若い指導者と共に歩  
50名の昂が半分近くになった。  
最初掲げた80名の男声合唱団には50数名が欲しい。  
それには、今いる団員全部が、あと10年歌い続けることだ。  
そして新しい団員を毎年5人～6人増やすことだ。

私もあと10年歌えるよう精進しようと思う。  
88歳でも腹から、体を使つて歌える、感動を与えることのできる合唱団で在り続けたい。  
何を、誰のために歌う合唱団なのか、問い続けたい。  
新しい一歩は、年齢とともに歩む一歩である。  
本人も元気で、家族も、地域も、社会も元気で、健康で歩めるよう、精進しましょう。  
昂とともに。うたごえ仲間とともに。

昂はねむかホールがあつてここまで頑張つて来れている。  
名義は個人のものであるが、その性格は昂はじめ地域全体のものである。  
オーナーの都合で資産運用されてしまつては困るのである。  
谷6には劇団大阪や新婦人、ユーラシア協会、保育連、原水協など多くの民主団体や文化団体が  
長く事務所を置き活動を続けている。  
その所有形態や運用形態から学び、ねむかホールの大阪南部うたごえや音楽活動の拠点となるべ  
き方向が論議される必要があろうかと思う。

昂の運営にとって考えなくてはならないことは、団員の減少による団活動そのものの危機である。  
収入が支出と拮抗している現状である。  
公演収入、事業収入、団費収入などの検討が求められる。  
当面団費引き上げが論議されるべきであろう  
暑い中の熱い論議をお願いしたい。 2022.7.15

団長挨拶として思うままに書きました。よろしく願いいたします 千秋昌弘

(注)2022年度昂総会が8月28日(日)に開催予定されています。新しい指揮者・新しい「友の会」の発足と月1  
回の「友の会」の「うたう会」、14回コンサートの計画等、新しい「昂」が、熱い夏の中、年相応に無理をせず、動き  
出しています。千秋団長が「団長として思うままに」と寄稿いただきました。(編集子)

## ■連絡事項

### (1)技術部より

#### 当面の練習曲

- ・大阪南部合唱発表曲；「いのちの歌」「地雷ではなく花をください」
- ・5月からの新曲：「種子(たね)」「ワクワク」「フニクリ・フニクラ」
- ・今後の練習予定曲：「フィンランディア」(出版譜面：関忠亮詞)、「遙かな友に」の2曲  
(男声4部アカペラ練習曲) (増える可能性あります)
- ・「日曜団員」練習曲：「川の流れるように」「キエフの鳥の歌」「昂」の3曲  
(「友の会」会員の歌を兼ねます)

### (2)合唱発表会

①南部地域(7月24日(日)) 鶴見区民センター 参加費600円(個人負担) 昂審査員：大島さん

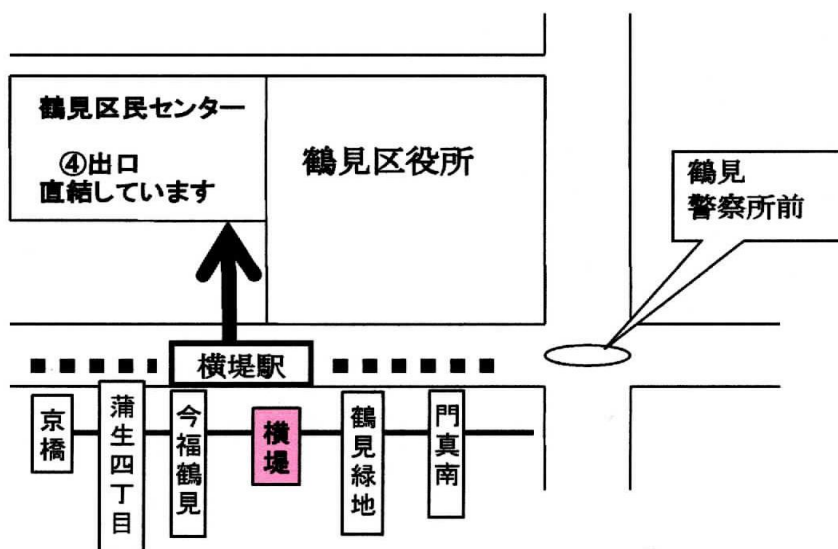
「昴」の集合時間：11:30、服装：夏シャツ・黒ズボン・9条バッチ  
 曲目：「いのちの歌」「地雷ではなく花をください」

大阪市内南部地域合唱発表会  
 2022年7月24日(日) 鶴見区民センター小ホール

舞台リハ		9:55	開会挨拶	鶴見区民センター 〒538-0052 大阪市鶴見区横堤5-3-15 TEL 06-6912-3971 大阪メトロ 長堀鶴見緑地線 横堤駅 ④ 出口 京橋から横堤駅までは約7分 横堤駅からホールまで3分 直結です ④ 出口の突きあたりに観音開きの ガラス扉有り、その向こう側がホール
	1	10:00	ギッチョジムーチョ	
	2	10:10	小野寺フレンド	
	3	10:20	昴休憩時の歌う会	
	4	10:30	大阪明日歌合唱団	
	5	10:40	ウイングス	
	6	10:50	大阪倫理法人合唱団	
	7	11:00	キアラ・コンパニーア	
	8	11:10	新日本婦人の会 ルンルン	
	9	11:20	グリーンコーラス	
	10	11:30	ちばりょー沖縄合唱団	
	11	11:40	ロシア民謡合唱団コスモス	
	12	11:50	大阪府庁合唱団	
	13	12:00	関西紫金草合唱団	
	14	12:10	男声合唱団 昴	

- ・発表時間は6分30秒です
- ・分担金は1人600円です。
- 合唱団毎にまとめてください。
- ・会場は9:25頃開きます。
- ・ホール内での飲食は不可です。
- ・決められた場所以外での練習は禁止

本番		13:20	開会、審査員紹介他	集会室 1 女性控え室 集会室 2 女性控え室 集会室 3 男性控え室 集会室 4 講評委員打合せとゲスト
	1	13:30	新日本婦人の会 ルンルン	
	2	13:37	グリーンコーラス	
	3	13:44	ウイングス	
	4	13:51	ギッチョジムーチョ	
	5	13:58	ロシア民謡合唱団コスモス	
	6	14:05	昴休憩時の歌う会	
	7	14:12	大阪府庁合唱団	
	8	14:19	大阪明日歌合唱団	
	9	14:26	関西紫金草合唱団	
	10	14:33	大阪倫理法人合唱団	
	11	14:40	キアラ・コンパニーア	
	12	14:47	ちばりょー沖縄合唱団	
	13	14:54	小野寺フレンド	
	14	15:01	男声合唱団 昴	
		15:08	ゲスト	
		15:38	審査発表	
		15:45	閉会	



②大阪合唱発表会(9月11日(日) LIC はびきの

LIC の発表曲を変更するかどうか？今後のレッスン進行状況を見て検討する。

③創作発表会:9月19日(サンクスケア堺):参加するかどうか、技術部会・運営委員会で検討中。



千秋・森 作詞作曲:「こんなに長く」「平和の歌で戦争やめさせよう」「ヒロシマ 母の怒り語りつぐ」  
希望曲 3 曲のうち 1 曲を千秋さんに決めてもらい、練習方法等これから決める。

#### □連絡事項

##### (3)「昂友の会」がスタートしました！

7月3日(日)14:00～16:00 ねむかホールにて、「友の会」の「練習会(うたう会)」を開きました。

「友の会」の練習曲は「川の流れるように」「キエフの鳥の歌」「昂」の 3 曲です。

ご家族・友人・知人のみなさん・他の合唱団員のかたがたにも積極的に入会・入団をお誘いください！

友の会の皆さんと、14 回コンサート(次回コンサート・)で 3 曲を合同演奏します。

##### (4)レッスン・運営委員会の日程変更について

□ 7 月の運営委員会:7 月 17 日(日)11:00～は北部合発と重なるため、  
開始時間を、同日 17 日(日)17:30 ～ へ変更します。

□ 8 月の運営委員会:予定の 8 月 21 日(日)は主要メンバーが公務のため中止します。  
7 月 31 日(日)11:00～ へ前倒して開催します。

なお、8 月 21 日(日)レッスンは予定通り 14:00～行います。

□ 7 月 31 日(日)のレッスン 14:00～は中止します。

□指揮者からの譜面に忠実に歌うことの要請にこたえて、指揮者から指摘される、大切な歌うポイントを譜面にメモしておくことは、歌を合わせるためにも、必要なことです。若いうちはすぐ暗記できますが、シニアは、メモすることも必要となります。技術部長伊藤さんから、7/1 レッソンの状況を詳細に記していただきました。(編集子)

##### 7 月 1 日レッスンメモ (伊藤)

① まず、7/1 レッスン時、男声 4 部合唱「フィンランディア」と「遙かな友に」の 2 曲の譜面を配布。  
(それぞれに、A4サイズ1枚です。)

##### 練習 1:「フィンランディア」

今日は、2 曲の内、前に歌ったことがある「フィンランディア」を練習しました。

但し、シベリウス作曲として市販されている男声 4 部合唱譜(原語歌詞付き)に、歌詞だけを関忠亮の日本語詞に置き替えた譜面を使用しました。(前に歌ったときの編曲譜ではない)

② 前に歌ったときの譜面と違うトコロがあります。

T1 以外のパートは、ところどころ音程が異なるトコロがあります。

1 番歌詞の「希望こそ」の「こ」に対応する音符が、8 部音符ではなく 4 分音符となっているところだけは、リズムが異なります。

4 パートですが、どの 2 パートを組み合わせてもハーモニーを楽しめる編曲だということで、2 パートだけ(T1 と BR、T2 と BS)で歌ってみて、歌わないパートが聞き役に回る体験もしました。

最後に全員(全パート)で歌って重厚なハーモニーの入りを味わうことができました。  
各パート内の音程を正しく揃えていくことが一番の課題ではないかと思われます。

パートの音色を揃えることも究極の課題ですが、

まずは、メンバー全員が、7/1 配布譜面に慣れて正しく歌えるようにし、

他パートの音や全体のハーモニーを感じ取りながら歌えるようになることを目標にし、耳の訓練にと繋げていきたいところです。

練習2:「地雷ではなく」(南部合唱発表曲)をたっぷり時間をかけて練習しました。

坂井指揮に替わってから、歌い方が大きく変わった点を更に徹底していくことに集中した練習となりました。

その一端だけですが、以下に書いてみました。

1)

本並指揮ではポップス調リズムを強調した歌い方で演奏してきました。

しかし、坂井指揮では、本並先生作曲の譜面に表わされている音符長さ通りに、次の休符の始まりタイミングまでしっかり伸ばし続けるように歌う、

つまり、その音符長さ分、しっかりと息を送り続けることが出来るような息の配分を考えて歌う。

クレッシェンド・デクレッシェンドの表現は、急激な変化にならないよう、なめらかな変化させれるような息の送り方に修練することも必要だと感じました。

2)

「ハナーの一たーねとー」と「ジラーイでは一なーくー」の部分は、どちらもシンコペーションで歌うが、歌い方にキチッと変化を付けること。

「花の種と」はリズムはシンコペーションだが、できるだけレガートな歌い方で歌う。

「地雷ではなく」は、シンコペーションが際立つ歌い方(立ったリズムで子音を強調)で歌うこと。

この両者の歌い方に変化をつけることで、歌詞の意味を対比的に表現できるようになるのだと思います。

3)

まだまだ音程を間違えて歌っている人や演奏テンポが遅れてしまう人も居ます。

メンバー全員が音程・リズム・強弱・歌い方、そして曲への思い入れも同じレベルになった演奏ができるようにしたいところです。

練習3:「いのちの歌」(南部合唱発表曲)

歌い出し部分の休符長さの違い、1拍伸ばし、2拍伸ばしの違いをしっかりと頭に入れること。

休符の部分まで伸ばし過ぎたり、休符部分にまで余韻が残ってしまうような歌い方は間違いです。合わせましょう。

練習番号Fの最後Gの手前部分もスパーンと切れるように歌う。

「よろこびがある。」ではなく、「よろこびがある！」という感じ。

「るー」で伸ばす間もクレッシェンドを続け、びっくりマーク付きの読点で切るようにと指示されました。

練習番号EのPIパート、「ほんとうに・・・かくれてみえない」は

全体に $mp$ だが、「かくれて」から少し大き目になりがち。途中で大きくなってしまわないよう、譜面指示通り、「みえない」まで、 $mp$ で歌い続けること。

その次の、PIIパートの「ささやかすぎる」は明確に $mf$ で歌い出し、「よろこびがある」でしっかりとクレッシェンドする。



## 「キエフの鳥の歌」について、調べたこと

寺脇伸育 2022.7.3

(ウェブサイト調べ、取りまとめたもの)

1984 年 6 月、モスクワ、ヤロスラブリ、キエフを訪れた訪ソ公演で、ウクライナのキエフを訪れた時、歓迎会で演奏された原曲を日本に持ち帰ったもの。

公演合唱団は、北海道合唱団を軸に全国に呼びかけられ結成。総勢 75 人が参加。

現ウクライナ共和国のキエフでの歓迎会で 3 人の女性がウクライナの弦楽器バンドウーラの弾き語りでこの歌を紹介した。

この公演から 2 年後にチェルノブイリ原発事故に見舞われた。その被害者救援を訴えて 2000 年から日本で歌い続けるナターシャ・グジーは、この歌をレパートリーに加えている。

曲の作者（訳詞者）は、北海道合唱団の指導者・作曲家の故木内宏治氏。  
メロディは女声合唱団チャイカの中島章利氏が日本語向けにアレンジしたもの。

原曲は、「また秋が来て（3H0BY OCiHb）」という歌曲（歌謡曲）と思われる。

YOUTUBE で聞ける曲では 3 番まで歌詞のあるものがある。通常は 1・3 番のことが多い。  
ちなみに 2 番の歌詞は

悲しい別れの朝  
寂しげに囁く  
熱き愛の言葉が  
今も耳に残る  
甘いあの調べのように  
歌え 鶯よ  
優しき人は今いずこ  
教えておくれ

ウクライナには、伝説の鳥が村々を訪れて、村人に幸せをもたらして去って行くという、古い言い伝えがある。  
この歌もこの伝説を下敷きにしたと思われる。

原曲「また、秋がきて」（別名：ナイチンゲール〈サヨナキドリ〉）  
作曲：オレクサンドル・ピラシュ  
作詞：Yevhen Hutsalo

（日本語訳詞）

また秋が…  
遠い南へとまた  
鳥たちはウクライナから飛び去って行く  
高く渦を巻いて  
はるかな旅路を行く

夜鶯（サヨナキドリ）の歌が消えた  
流れていた空から  
夜鶯の歌流れるウクライナは  
その歌もなしに  
どうやって暮らしていくのだろうか？

白鳥の歌が消えた  
飛んでいた空から  
白鳥の歌流れるウクライナは  
白鳥の悲しい歌もなしに  
どうやって暮らしていくのだろうか？

Web サイトで「また秋がきて」で検索

「キエフ鳥の歌ウクライナ歌曲-WORLDFOLKSONG.COM」から

ナザリー・ヤレムチュク（ウクライナの歌手・俳優・芸術家、1986 年チェルノブイリ原発事故で被曝、その 9 年後にガンで死亡。）の原語で歌う動画が見れます。